



……決定項目



……検討項目

優先的に取り組む分野 『活動拠点の整備・プラットフォームづくり』

現状の課題

- ・各団体の活動を互いに知らないなのでそれを共有する必要がある
- ・地区ごとの課題を持ち寄り連携して解決していくための場がない
- ・地域活動を維持・拡大するにあたっては、活動拠点を地域全体へ周知することも重要である
- ・地域内の連携によって、地域内での情報共有や賑わいの創出、交通利便性の向上なども期待できる



令和4年度(2022年度)に地域が主体的に活動可能な分野

活動拠点の整備、 プラットフォームづくり	地域情報の共有及び団体連携の強化 ・取組概要: コミュニティカレンダーの作成 ・取組概要: 既存の施設や拠点を活用したマルシェの開催
	地域課題の解決などに向けた場の創出 ・取組概要: 町内会に推進会議の部会の設置

アクションプランとして位置付ける取組の分野候補(案)

令和4年度(2022年度)から5か年程度で取り組む分野

地域の担い手の育成	地域人材が将来的に戻ってきたくするための地域の魅力向上 計画を実現するリーダーや地域情報のインフルエンサーの育成
地域情報の発信力の強化	地域での幅広い情報共有、SNSを活用するための環境整備 空家・遊休農地を再利用しやすい環境づくり
交通利便性の向上	交通(バス、タクシー、電車、モノレールなど)の利便性の向上 病院や学校、買い物への移動をサポート(コミュニティバスなど)
地域コミュニティの活性化	地域での見守り隊を結成
行政との連携強化	担当所管との定期的な意見交換(双方の情報共有の強化) 計画を実施するための組織づくり